

「わんぱく子供広場」について

発表者：村山総合支庁森林整備課
○矢萩芳春、上野 満

I まえがき

次代を担う子供たちが、森林のなかで伸び伸びと冒険的に遊ぶことにより、たくましい精神と豊かな想像力を育むとともに森林のすばらしさ、大切さを体感することを目的としています。「わんぱく子供広場」は平成14年度から山形県村山総合支庁戦略プロジェクト事業として始まり今年で2年目を迎えました。平成15年度は県民の森を中心に、山形市の西蔵王公園、最上町の大場満郎冒険学校などで、6回の「わんぱく子供広場」を実施しました。小学生の参加人数は述べ149名、プレーリーダーが延べ86名、計235名の参加になりました。県民の森は、県民の健康の増進や休養に役立てるとともに、自然を愛する心を育むために、県政100年を記念して、昭和56年に造成されました。

所在地は、山形市の西方17km、山形市、南陽市、東村山郡山辺町及び西置賜郡白鷹町の2市2町にまたがり、面積は895haとなっており、標高は550m～1,000mで、荒沼や大沼など大小13余りの湖沼群があります。

この事業の実施主体は山形県村山総合支庁で、委託先として財団法人山形県みどり推進機構に業務委託をしています。

II 研究方法

1 わんぱく子供広場の開催

ア 期 日：平成15年7月から11月

イ 回 数：各月1回、延べ6回 但し8月は2回開催

ウ 場 所：県民の森及び西蔵王公園、大場満郎冒険学校

エ 内 容：

- (ア) 参加者の募集：7月から11月の月1回、延べ5回は、東南村山地区の4年生から6年生を対象に30名程度を募集しました。
- (イ) カリキュラム：子供たちの自主的活動を主体とするものの運営検討会等で実施方法を検討し、予め各回のカリキュラムを準備しました。
- (ウ) プレーリーダーの派遣：有意義なわんぱく子供広場とするため、指導助言者としてプレーリーダーを配置しました。

2 プレーリーダーの研修の実施

プレーリーダーの指導力向上のため、次の研修を実施しました。

ア プレーリーダーの研修体験

冒険的な野外活動等の先進地において、指導的なプレーリーダーが実体験を行い野外活動の指導力の向上を図りました。

イ プレーリーダーの養成研修

新規プレーリーダーの参入と指導力の向上を図るため、専門家による緊急救命法や児童心理学の研修会を開催しました。

3 運営検討会の開催

平成 14 年度の開催状況をもとに、子ども会の役員や 14 年度の参加児童の父兄等の代表者の参画を得て、平成 15 年度の実施方法、内容について検討を行いました。

村山総合支庁のプロジェクト事業として、他機関の意見を聞きながら「わんぱく子供広場」を進めていきました。

ア 運営検討会の委員 7名

東北芸術工科大学、山形短期大学、村山教育事務所、山形市役所、(財)山形県みどり推進機構、平成 14 年度参加児童の父兄代表 2 名、事務局が 9 名で、合計 16 名で構成されています。

4 事業の開始

ア 「わんぱく子供広場整備事業」チーム会議：5月21日 村山総合支庁 403 会議室

(ア) 平成 14 年度の実施状況について報告

- ① わんぱく子供広場の実施状況
- ② 木製遊具の整備状況

(イ) 平成 15 年度の実施計画について

- ① わんぱく子供広場の実施計画
- ② 募集方法について
- ③ その他

イ 「わんぱく子供広場」開催運営検討会：6月11日 村山総合支庁 403 会議室

(ア) 平成 15 年度「わんぱく子供広場」の持ち方について

① 開催期日及び場所

- a 第 1 回 7 月 19 日 (土) 山辺町 (県民の森)
- b 第 2 回 8 月 16 日 (土) 山辺町 (県民の森)
- c 第 3 回 9 月 20 日 (土) 山辺町 (県民の森)
- d 第 4 回 10 月 18 日 (土) 最上町 (冒険学校)
- e 第 5 回 11 月 15 日 (土) 山辺町 (県民の森)

② 募集人員：30 名程度

③ 募集方法：市町村広報紙の活用、チラシの配布

④ 開催内容

a 基本方針(姿勢) 自主的活動を基本とし、「みんなの約束」踏襲。

b 活動内容 第 1 回から第 5 回まで

c 1 日わんぱく広場の持ち方

期日及び場所 8 月 2 日 (土) 「西藏王公園」地内 (都市公園)

募集予定人員 80 名程度 (総合支庁管内全域を対象)

d 活動内容

(a) ねらい：子どもどうしで野外活動を体験させる。多くの友達をつくる。
グループごとの活動とし、子供同士に連帯感、協調性などを養ってもらう。

(b) 内容：森林の中で、探検、冒険などの活動をする。

(c) 展開の仕方：問題提起→子どもに冒険心などを起こさせる。

主な活動→森林探検、弓撃ちゲームなど。

まとめ→グループごとに目標を達成できたか考えさせる。

- (d) 対象者：小学生 80 名
- (e) 日時：8 月 2 日（土）10 時から 15 時まで（5 時間）
- (f) スケジュール：指導者集合・打合せ、受付、はじまり、日程説明、グループ別に分かれ自己紹介、森林探検、昼食、弓矢づくり、弓撃ちゲーム、まとめ、ふりかえり、あとかたづけ、参加者解散、主催者反省会、主催者解散
- (g) 会場：西蔵王公園（都市公園）
- (h) 指導体制：グループ活動とする。グループは 16 名の 5 班とする。指導者は各グループに 2～3 名とし、15 名を確保する。この中に、記録(写真)係、救護係、連絡（調整）係を置く
- (i) 注意事項：事前に下見をする。
道具などの準備を十分に行なう。
参加者に昼食、雨具、帽子など必要な装備を準備させる。

ウ プレーリーダーの研修について

(ア) プレーリーダーの体験研修

プレーリーダー研修会：7 月 5 日（土）山辺町「県民の森」研修室 23 名
日本赤十字社山形県支部へ講師を依頼して、緊急時の応急措置についての研修会及び木製遊具の有効な使用方法について研修会を実施した。森の案内人、東北芸術工科大学学生、財団法人山形県みどり推進機構、山形県村山総合支庁等の関係者が受講した。

(イ) プレーリーダーの養成研修：① 児童心理学 ② 救急救命実技

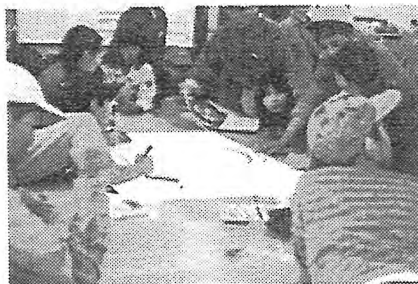
5 平成 15 年度「わんぱく子供広場」の開催

ア 第 1 回目開催日：平成 15 年 7 月 19 日（第三土曜日）

開催場所：東村山郡山辺町「県民の森」、小学生 25 名、プレーリーダー 16 名の参加

実施内容：開会式を行い、「みんなの約束」を踏襲した。

- (ア) 各自のネームプレート作り（枝の輪切り）
- (イ) 班別団旗作り（2 班編成）
- (ウ) 流しそうめん用樋作り（モウソウ竹を二つ割りし、節を抜く）
- (エ) 昼食（流しそうめん）
- (オ) 森の観察とハッチョウトンボ観察
- (カ) ミズキの葉脈観察



班旗作り



流しソーメン

イ 第2回目開催日：平成15年8月2日（第一土曜日）

開催場所：山形市「西藏王公園」都市公園、小学生40名、ブレイカー11名の参加
実施内容：一日わんぱく子供広場を開催した。

第1回わんぱく子供広場の参加者のほかに、管内の4年生から6年生を新たに募
して、一日わんぱく子供広場を開催した。

- (ア) 5班に編成し、班別にチェックシートを持って森林散策（匂いのする木、カエ
デの実を探そうなど課題を提示）
- (イ) 弓矢作りと的当てゲームを行い、班別に点数を競うゲーム。
記念品あり（ロビンフット遊び）



森林散策の課題



的当てゲーム

ウ 第3回開催日：平成15年8月16日（第三土曜日）

開催場所：東村山郡山辺町「県民の森」 小学生17名、ブレイカー12名の参加
実施内容：正規のわんぱく子供広場に戻し、県民の森で開催した。

- (ア) 班別に遊びの基地となる「隠れ家」作り
- (イ) 休憩時間（すいか割り）
- (ウ) ターザンロープ遊び



隠れ家作り

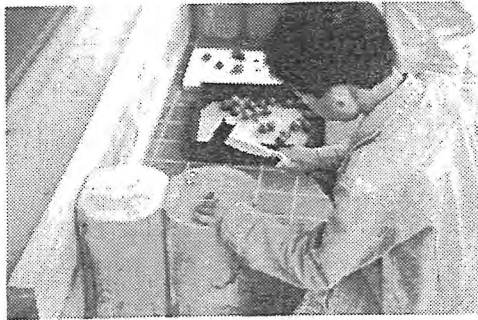


スイカ割り

エ 第4回開催日：平成15年9月20日（第三土曜日）

開催場所：東村山郡山辺町「県民の森」 小学生22名、ブレイカー17名の参加
実施内容：第3回に引き続き隠れ家作りを中心に実施した。

- (ア) クルミをたっぷり入れた「ゆべし」作り（休憩時間のおやつ）
- (イ) 「隠れ家」作りの完成
- (ウ) 班別対抗弓矢的あてゲーム
- (エ) ターザンロープ遊び（2本設置）



クルミ割り



的あてゲーム

オ 第5回開催日：平成15年10月18日（第三土曜日）

開催場所：最上町「大場満郎冒険学校」 小学生26名、ブレイダー16名の参加

実施内容：大場満郎冒険学校に一日入学を体験した。

①はげ山登山

②ピッツア焼き体験、昼食

③大場満郎冒険ビデオ鑑賞、及び展示品観賞



はげ山登山



ピッツア焼き体験

カ 第6回開催日：平成15年11月15日（第三土曜日）

開催場所：東村山郡山辺町「県民の森」 小学生19名、ブレイダー14名の参加

実施内容：「県民の森」では4回目の開催、今年度最後のわんぱく子供広場となる。

(ア) 焼き芋の準備（サツマイモを濡れ新聞紙とアルミホイル包み）

(イ) ターザンロープ遊び、「隠れ家」班別の解体

(ウ) 木製火起こし器で焼き芋の種火起こし（落ち葉で焼き芋）

(エ) 体験作文のまとめ（印刷製本）

(オ) 焼き芋を賞味

閉校式



火起こし器



ターザンロープ遊び

Ⅲ むすび

- 1 今回の「わんぱく子供広場」を開催して、子供たちの参加人数は述べ149名、プレーリーダーが86名で、計235名でした。色々な都合で全員が揃うことはありませんでしたが、子供たちは「大場満郎冒険学校」に一日入学などの色々な思い出などが沢山出来たと思います。
 - ア 子供たちが、学校以外の多くの子供たちと交流ができ、森の中で伸び伸びと遊ぶことができた。
 - イ プレーリーダーの指導者として、東北芸術工科大学の学生や「県民の森」の森の案内人の協力が多く得られた。
 - ウ プレーリーダー（大学関係者）が2回目の西蔵王公園の散策道で、蜂に刺されたたまた、5回目の大場満郎冒険学校のはげ山登山の散策道で、蜂に刺されたた、双方共に散策道の事前のルート点検は行なったが、少人数のためハチに気が付く人がいなかったためと思われる。
 - エ 計6回のわんぱく子供広場を行なって、26のカリキュラムがあり、1回当たりのカリキュラムが多すぎ、子供たちの自由な時間がなかった。
 - オ 記録集の作成として子供たちの感想文をそのままコピーし、表紙に団旗と全員の写真、次ページには「みんなの約束」等を網羅した記録集を作成し、参加者全員に記録集を配布し事業を完了しました。

みんなの約束

私たちは、わんぱく子ども広場において、つぎのことを約束します。

- 1 自分のことは自分でします。
- 2 自分から進んで作業をします。
- 3 友だちと力をあわせて作業をします。
- 4 友だちに「ダメ」は言いません。
- 5 ケガの責任は自分で持ちます。

最後に、平成16年度は子供たちに2回程度は自主的な活動として、何をやりたいのか、もっと自由な企画立案をまかせたいと思います。

いろいろな反省点を踏まえ、平成16年度はより良い「わんぱく子供広場」が行われることを目指したいと思います。

協力して頂いた森の案内人やプレーリーダーの関係者に感謝を申し上げます。